

▼フルダラ静注用 [注]・▼錠 [内]

【重要度】★★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】フルダラビンリン酸エステル (U) fludarabine phosphate 【分類】抗悪性腫瘍剤 [プリン拮抗薬]

【単位】▼50mg/V, ▼10mg/錠

【常用量】■貧血又は血小板減少症を伴う CML, 低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫, マントル細胞リンパ腫: 20mg/m²/日を 5 日間連日点滴静注し, 23 日間休業する。これを 1 クールとし繰り返す ■同種造血幹細胞移植の前治療: 30mg/m²/日を 6 日間連日点滴静注 (約 30 分) [投与量及び投与日数は適宜減] ■経口: 40mg/m² (体表面積) を 1 日 1 回 5 日間連日経口投与し, 23 日間休業, を 1 クールとし繰り返す

【用法】30 分点滴静注

【透析患者への投与方法】禁忌 (1)

【その他の報告】常用量の 50% に減量 (3,12) 6~12.5mg/m²/日静注 5 日間 (17) 減量と透析性を考慮 (Kielstein JT, et al: Eur J Haematol 74: 533-4, 2005)

【PD】12.5mg/m²/日を静注 5 日間 (17)

【CRRT】18.75mg/kg/日静注を 5 日間 (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr>70mL/min: 20mg/m², Ccr70mL/min: 18mg/m², Ccr50mL/min: 14mg/m², Ccr30mL/min: 12mg/m², Ccr30mL/min 未満: 禁忌 (1) 錠剤の投与方法については腎機能と体表面積で指示されており, 添付文書参照 (1)

【その他の報告】GFR>50mL/min : 減量の必要なし, GFR10~50mL/min : 常用量の 75% に減量, GFR<10mL/min : 常用量の 50% に減量 (3,12)

腎機能低下時の投与量補正係数=0.4+0.01×Ccr (1) 腎機能低下により減量を要し, Ccr30mL/min/1.73m² 未満には投与すべきでない (U)

造血幹細胞移植前に GFR>50mL/min : 30~50mg/m²/日を 3~5 日, GFR10~50mL/min : 25mg/m²/日を 5 日間, GFR10mL/min 未満: 12mg/m²/日を 5 日間 (17)

F-ara-A の CL は Ccr と相関 (Lichtman SM, et al: Cancer Invest 20: 904-13, 2002)

【特徴】フッ化アデニン誘導体 (フッ化ビダラビン) で, ビダラビンよりもアデノシンデアミナーゼに安定な DNA 合成阻害剤。RNA 合成も阻害し, S 期だけでなく休止期のがん細胞にも効果があるとされている。また, リン球を抑制することによる免疫抑制作用も存在しているらしい (U)

【主な副作用・毒性】骨髄抑制, 間質性肺炎, 精神神経症状, 腫瘍溶解症候群, 感染症, 皮膚障害, 脳出血, 肺出血, 消化管出血など

【F】2F-ara-A として 50% 以上 (1) 2F-ara-A として 58% (Yin W, et al: Biopharm Drug Dispos 31: 72-81, 2010)

【tmax】2F-ara-A として 1~2hr (1)

【代謝】血液中ですばやく 2Fluoro-ara-A に代謝され, 2F-ara-A として主に尿中に排泄される (1)

【排泄】2F-ara-A として尿中に 29~64% 排泄 [iv] (1) 尿中未変化体排泄率 50% (12) 2F-ara-A として尿中に 40~60% 排泄される (U)

【CL】172mL/min (U) 中等度腎機能低下時 124mL/min (U) 2F-ara-A として全身 CL 93mL/min/m² [iv], 腎 CL 54.8mL/min/m² (1) 【非腎 CL/全身 CL】2F-ara-A として 40% (1)

【t1/2】7~12hr (12) 3 相性で最終相は 20hr (U) 【腎不全患者の t1/2】24hr (12)

【蛋白結合率】2F-ara-A として血漿に 19.3~29.4% (1) 2F-ara-A としてアルブミンと 9.1% (1) 低い (U)

【Vd】5~40L/kg (12) 7.49L/m² [iv] (1)

【MW】365.21

【透析性】Vd が比較的大きいため効率的には除去できないと思われる (5) 資料なし (1) HD クリアランス 33.85mL/min (Kielstein JT, et al: Eur J Haematol 74: 533-4, 2005)

【O/W 係数】0.001 未満 [1-オクタノール/水系, pH7.0] (1)

【更新日】20180529

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。